

授業科目名	社会福祉 I	担当教員名	山下 智佳子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育の本質・目的の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所で児童福祉司として従事したほか、福祉事務所や社会福祉協議会での実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	現代社会における社会福祉の意義や理念を理解し、複雑化・多様化する福祉ニーズに対して、社会福祉制度やサービス、社会福祉援助活動がどのように実践されているのかを学ぶ。とくに、子どもや子育て家庭が直面するさまざまな生活問題を社会福祉の課題として捉えて、子どもや子育て家庭を支援することができるよう、相談援助の技術や利用者保護のしくみを理解する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における社会福祉の意義を説明できる。 2. 社会福祉における子ども家庭支援の視点をもった考え方ができる。 3. 社会福祉の制度や実施体系等を踏まえ、社会福祉の現状と課題を分析できる。 4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて説明できる。 5. 子どもの人権擁護について、自分の考えを述べるができる。 		
テキスト	「最新 保育士養成講座 第4巻社会福祉[改訂1版]」山縣文治・鶴宏史 編著, 2022, 全国社会福祉協議会		
参考書・参考資料等	授業内で適宜紹介、配付する。		
成績評価の方法	授業参加態度：15% / 課題シートの提出（毎回）：45% / 理解度・到達度チェック：40%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示します。事後指導については、毎回提出する課題シートで振り返りをしますが、提出授業時に配付した資料とテキストで、毎回復習しておきましょう。課題シートには質問事項も記載できるようにし、次の授業で回答します。また、日ごろから、社会や社会福祉に関するニュースなどにも関心をもって、授業に臨んでください。 オフィスアワー：授業終了後（研究室）		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション 保育と社会福祉 社会福祉を学ぶ意義	1,2,5	
第2回	現代社会と社会福祉～社会生活上のニーズ, 社会福祉の目的と理念～	1	
第3回	社会福祉のあゆみ	1	
第4回	社会福祉と子ども家庭福祉	1,2	
第5回	社会福祉の制度と法体系	3	
第6回	社会福祉行政と実施機関, 社会福祉施設	3	
第7回	社会福祉の担い手①社会福祉の専門職と倫理	3	
第8回	理解度・到達度チェック① 社会福祉の担い手②関連領域の専門職、民間活動との連携・協働	3	
第9回	社会保障および関連制度	1,3	
第10回	社会福祉における相談援助①相談援助の意義と機能	2,3,5	
第11回	社会福祉における相談援助②相談援助の方法と技術	2,3,5	
第12回	社会福祉における相談援助③相談援助の展開過程	2,3,5	
第13回	利用者の権利擁護と福祉サービスの質の保障	4	
第14回	社会福祉の動向と課題①わが国の社会福祉の今後	1	
第15回	理解度・到達度チェック② 社会福祉の動向と課題②諸外国の状況 まとめ	1	